

基本情報

需要家	南日本酪農協同株式会社
事業の実施場所	宮崎県都城市
施設の名称 (需要家の法人名+建物の名称)	南日本酪農協同株式会社 都城工場
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPA
導入設備	太陽光発電設備：956.55kW (太陽光パネルの出力) 692.45kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：15kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2025年2月から発電開始
総事業費 (税抜)	156,389,966円
平均の年間CO ₂ 削減率 (削減量)	7.00% (434.82t-CO ₂ /年)

事業目的・概要等

同社は、牛乳、乳製品等の製造および販売を主要な事業としている。
太陽光発電設備は敷地内および屋根上に設置し、昼間の作業時間帯における電力を中心に自家消費を行い、平時の電力コスト削減およびCO₂排出量の削減を図る事例である。
停電時においては自立運転型パワーコンディショナ (蓄電池) による電力供給を行うことで、レジリエンス強化の促進を図る。

今後の再エネ導入に向けた取り組み

南日本酪農協同株式会社は工場3拠点、グループ会社に工場が2拠点あるが、基幹工場である都城工場にオンサイトPPAモデルで導入した。都城工場は1976年に創業開始し、規模拡大とともにエネルギー使用量も約8,000kLまで増大している。
今後、エネルギーコストやCO₂排出量削減に向けた取り組みとして、他拠点への導入やレジリエンス強化に向けて蓄電池システム導入を検討する。

導入施設の外観



主な導入設備



太陽光パネル



パワーコンディショナー、変圧器



定置用蓄電池